学校番号	T3017

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」　（帝国書院）						
副教材等	新詳高等地図　（帝国書院）、自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、原則１授業につき課題（テーマ）１つを取り上げて、授業を進めていきます。
・実際の旅行記録から地理の学習をして、リアルな地理的感覚を養っていきます。
・後期に入る前後から、自分の考えをまとめたり発表したり、議論するための活動を進めていきますので、前期の最初から、学習内容を踏まえたまとめや振り返りを習慣づけておきましょう。
・積極的な参加や取り組みは評価の対象とします。
・授業中に気づいたことや重要なことだと思ったことは板書の言葉だけではなく、図やイラストにしてまとめてみましょう。
・家庭学習でおこなうレポートは、定期的に提出してもらいます。教科書の内容が中心になりますので、参考にしながら完成しましょう。
・定期考査の内容は次単元の基本になる場合が多いので、解答や該当箇所の授業プリントや教科書を見るなどして、よく復習をしておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図などを用いて、諸資料から 地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を磨く。
【思考力、判断力、表現力等】
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。
【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地球上の位置と時差	地球上の位置と私たちの生活 時差と私たちの生活	a：緯度・経度の基本的なしくみ，緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 b：時差のしくみ，時差が生活に与える影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：時差のしくみ，時差が生活に与える影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	授業プリント 定期考査	レポート 定期考査	レポート 観察

	地図の役割と種類	地球儀と地図 身の回りの地図 統計地図の種類と利用 地理情報システム(GIS)の活用	a:球体の地球と平面の地図，さまざまな地図投影法（図法）や、身の回りの主題図・一般図の用途について理解している。 b:統計地図の種類，統計地図の比較と使い分けについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術，GISの活用場面について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	授業プリント 定期考査	レポート 定期考査	レポート 観察
前期	現代世界の国家と領域	現代世界の国家 日本の位置や領域	a:国境の種類，国家の領域，国家の主権，日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について理解している。 b:国境の種類，国家の領域，国家の主権について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	授業プリント 定期考査	レポート 定期考査	レポート 観察
後期	グローバル化する世界	国家間の結び付き 貿易によって結び付く世界 さまざまな交通網の発達	a:国際関係と紛争の変化，国連が果たす役割，経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて理解している。 b:世界を結ぶ航空交通の発達，貿易を支える海上交通の発達，陸上交通の発達と変化について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:暮らしを支える貿易，貿易の変化と国際分業の成立，自由化する世界の貿易について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	授業プリント 定期考査	レポート 定期考査	レポート 観察

	世界の気候と人々の生活	気温・降水と人々の生活 大気大循環と人々の生活 世界の植生と気候区分	a:気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について理解している。 b:大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	授業プリント 定期考査	レポート 定期考査	レポート 観察
後期	世界の気候と人々の生活	熱帯の生活 乾燥帯の生活 温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活	a:各気候帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 b:各気候帯の気候・植生と生活との関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:各気候帯の気候・植生と生活との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	授業プリント 定期考査	レポート 定期考査	レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度